

片山廣子のクリステイナ・ロセツテイ受容

—第一歌集『翡翠』刊行までの短歌を中心に—

文学研究科 言語文化学専攻 国語国文学専修

永なが
井い
泉いづみ

はじめに

第一章 片山廣子の詩想にみられるクリステイナ・ロセツテイの作品

- (一) 童謡集『シング・ソング』収載作品との比較
- (二) 第一詩集『ゴ布林マーケットとその他の詩』収載作品との関係

第二章 「ゴ布林・マーケット」に着想を得た短歌

- (一) 「ゴ布林・マーケット」について
- (二) 「魔」の誘いを詠んだ歌
- (三) 「髪」と「死」の結びつきを詠んだ歌
- (四) 作品の背後にあるキリスト教的主題を詠んだ歌

第三章

明治におけるクリスティーナ・ロセッテイの受容

- (一) クリスティーナ・ロセッテイの作品集
- (二) 廣子と外国文学―蔵書リスト、随筆、年譜から―
- (三) 「學の鑑」掲載の洋書リスト
- (四) ロセッテイに関する紹介、批評、および訳詩
- (五) ラフカディオ・ハーンによる講義

おわりに